

進路指導計画

目標 あらゆる機会をとらえ、生徒が主体的に自らの生き方を考え、人生設計を立てる能力や態度を育成するように努める。

- (1) 教育活動全体を通して、生徒一人ひとりの能力や適性を把握し、適切な進路選択ができるよう指導・助言に努める。
- (2) 家庭との連絡を密にし、生徒が目的意識や意欲をもって進路選択ができるように努める。

進路指導年間計画

学年	学期	主題	指導内容	指導のねらい
1年	前期	将来の希望と進路の学習	私たちの将来の希望	<ol style="list-style-type: none"> 1. 友達や自分の将来の希望をもとにして、進路への関心を高めるとともに、よりよい進路希望を持つことの重要性を理解させる。 2. 中学校卒業後の進路の多様性を理解させ、より広い視野に立って将来の進路を考える態度を育てる。
	後期	職業学習	働く人々の姿	<ol style="list-style-type: none"> 1. いろいろな職業について、その仕事内容を調べる。 2. どのようにしたら、その仕事に就くことができるのか、調べる。
2年	前期	働くことと学ぶこと	働くことの目的と意義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人は何のために働くのかを考えさせる。 2. 自分は将来、何のために働くのかを考えさせる。 3. 自分は将来、どんな考えや態度で働いたらよいかを考えさせるとともに、これらの学習を通じて、望ましい職業観・勤労観の基礎を養う。
	後期	適性と進路	後期中等教育の教育機会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校の教育の目的と種類、学科などを理解させる。 2. 普通科、専門学科などの特色について学ぶ。 3. 専修学校や各種学校、職業訓練施設などについて学ぶ。 4. 職業学習をさらに深める。
3年	前期	進路の選択	進路先の調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の進路選択との関連において、進路先の調査の必要性を自覚させ、調査の方法や必要な調査事項などについて理解させる。 2. 自分の希望する上級学校や事業所について調べ、その結果に基づいて進路先の選択ができるようにする。
	後期	明るい将来への準備	進学・就職の準備と実現への努力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の進路を選択する場合には、自分の意志と責任において決定しなければならないという自覚を持たせる。 2. 進学や就職に必要な準備は何かを明確にとらえさせ、実現に向けて実際に準備を十分整えさせる。 3. 将来の希望や抱負を明確にさせるとともに、その実現を目指して努力する決意を持たせる。

